

シナリオ 9

避難所開設後 ～一週間経過

【場面設定】

小学校での避難所生活も、はや一週間が経過していた。



相変わらず、ゆかりたちの住家は震災の影響で倒壊の恐れがあるため、立ち入り禁止となったままだった。

避難所では、毛布や非常食、各地から届く救援物資が安定的に供給されるようになり、ようやくある程度まともな生活が送れるようにはなってきたが、震災前の何気なく過ごしてきた日常生活とはまったく異なるものだった。避難所にいる避難者の顔は、皆、疲労と苛立ちでいっぱいだった。」

ここにいる全員が、ストレスと急激な生活条件の変化から心身が不安定になっているのだろう。

ゆかりたちも例外ではなく、せっかく届いた食料も、あまりのどを通してはいなかった。美穂も翔太も、普段食べなれていないもののせいか、ほとんど食べられていないようだ。

また、臨時に設置されている仮設トイレでは間仕切りも薄いため、まともに排泄もできずに兄弟そろって便秘になってしまっているようだ。



【議論のポイント】

- ・災害時に子どものためにできる配慮は限られていますが、子どもには特別な配慮が必要であることを、大人たちは認識できるでしょうか。そのような観点から避難所の運営はどうあるべきなのでしょう。

避難所開設後 ～一週間経過まで

【行動シミュレーション】

真一郎の母、つた子はあの忌まわしい震災が起こる前からほぼ寝たきり状態で、震災時にタンスが倒れてきたものの、幸い軽症だったためこの避難所から1キロほど離れた場所にある災害時要援護者を受け入れてくれる福祉避難所に避難していた。真一郎も一度はゆかりたちのいる小学校に避難していたが、つた子の世話をするため、この福祉避難所に詰めていた。

3日前からようやく余震も収まり、小学校と福祉避難所間をなんとか行き来することができるようになったので、ゆかりと2人の子どもたちは、自分たちの気分転換にもなるため、日に日につた子の様子を見に行っていた。

しかし、つた子は今ではゆかりや2人の孫のことはおろか、付きっきりで世話をしている真一郎ですら、誰かは分からなくなってしまうようだ。ショックとストレスが認知症を進行させてしまったのだろうか。

真一郎は、今頃、はるかはどうしているんだろうという思いが、ずっと心の中にひっかかっているものの、やはり今は、母のつた子の認知症と今後の生活が一番心配である。



ふいに真一郎は「仮設住宅の申し込みや、融資などの法律相談ってどうなっとんやろか。」とゆかりに聞いたが、ゆかりは苛立ちもあって「知らんわよ。そなん。」と冷たく返した。真一郎は、小学校に一時情報を集めに戻ることを決め、福祉避難所をあとにした。

避難所では、ストレスで普段、何気ないことで、イライラすることがあります。

真一郎は、小学校に戻るとすぐに、山田会長に今把握できている正しい情報が知りたいと願い出た。すると周りにいた皆からも賛同する意見が飛び交った。

山田会長は「ほんなら今から読み上げていくから、みんな静かに聞いといてよー。

まず、昨日、体調不良で搬送された木下さんの病名は、エコノミー症候群（注釈1）でした。同じく宮西さんの病名は、生活不活発病（注釈2）でした。

同じく川崎さんは、風邪の悪化です。次に本日の給水車が到着する時刻は3時、7時・・・」と読み上げ始めたが、すぐに「えー、そんな情報いらんし。

一度にいっぱい言われても覚えられへんわ。」とそこらじゅうで苦情が上がった。

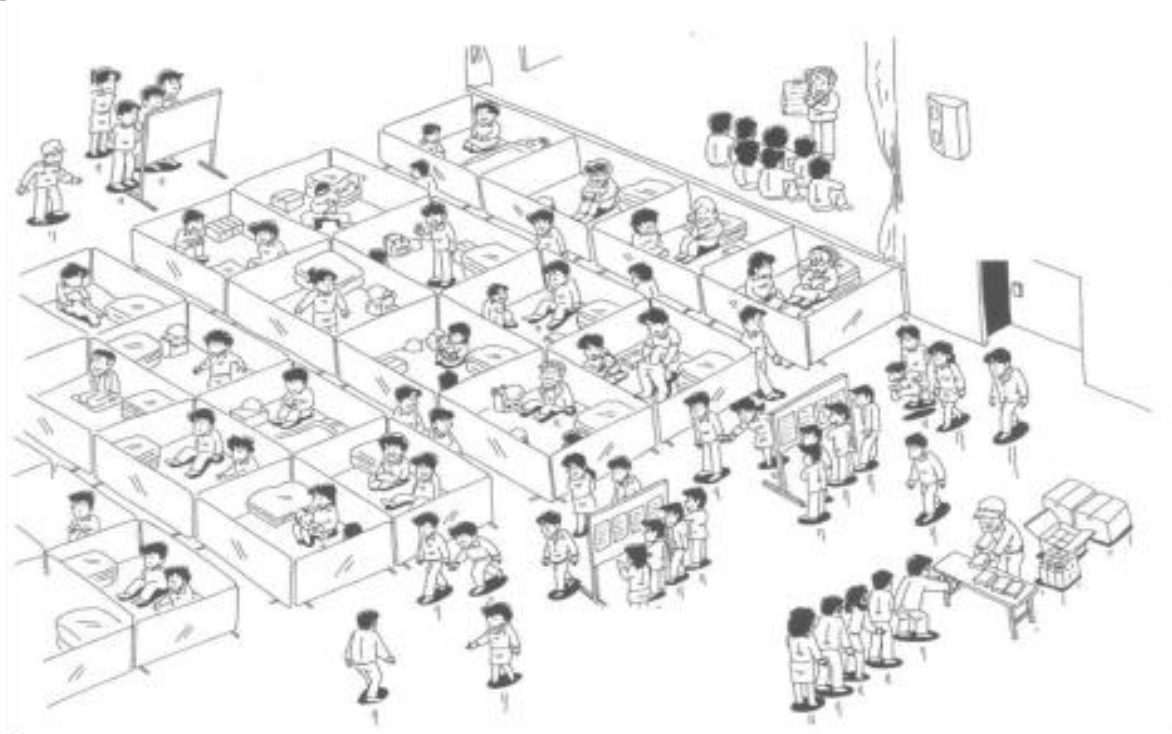
避難所開設初期には起こらなかった精神的な問題や我慢に対する不満が、時間の経過とともに徐々に現れ始めるようになってきた。

避難者からは、「そろそろ非常食以外の物が食べたいなあ。」

「いい加減シャワーが浴びたいわ。ああ、いつになったら暖かいお風呂に入れるのかしら。」と、みんな言いたい放題である。

山田会長は、「発災当初は、我が身が助かっただけでも喜んでいたのに。避難所生活が始まれば食料などの目先の欲求を。それが満たされれば、今度は安定した生活を望んでいる。ガスや電気、水道などのライフラインは未だ復旧していない。解決しなければならない新たな課題や問題は、住民全員が元の生活に戻るまでなくなることはなさそうだ・・・」

「そういえば、木下さんはエコノミー症候群になっていたな。今までは、避難所運営のことばかりに気を取られていたが、皆、体を動かす機会もあまり無いようだ。」「そうだ。今日の定時情報提供の時に「明日の朝から気分転換も兼ねて運動場で毎朝ラジオ体操しないか」提案してみよう。」



(注釈 1) 【エコノミー症候群】

- ・ 静脈血栓塞栓症（じょうみやくけっせんそくせんしょう）のことで、飛行機内などで長時間同じ姿勢を取り続けて発症することがよく知られており、俗にエコノミークラス症候群あるいはロングフライト血栓症とも呼ばれる。

(注釈 2) 【生活不活性病】

- ・ 災害などをきっかけに外出が減り、座りっぱなしになると生活が不活性になって、全身の機能が低下する。